

編集委員名

委員長 森脇 義弘
編集委員 青木 裕子 太田 龍一 勝部 琢治 後藤 真由美
永瀬 正樹 長谷川 英美 原田 正俊 藤原 誠
前島 里子 毛利 真由美 山口 清次 渡部 初枝

平成 31・令和元年度査読者一覧(50 音順、敬称略)

井上 圭太、池田 啓孝、遠藤 健史、太田 龍一、大谷 順、
奥田 淳三、春日 聡、勝部 琢治、齊藤 晋祐、澤 純平、
長谷川 英美、象谷 ひとみ、西倉 希、藤原 誠、森山 直美、
森脇 義弘、渡部 初枝

以上、御協力有り難うございました。

雲南市立病院雑誌編集委員会

編集委員長のお詫び

雲南市立病院医学雑誌 編集委員長 森脇 義弘

2022年 11月 10日

この度は、雲南市立病院医学雑誌の刊行が遅れまして、執筆者や投稿者の皆様にご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

2019年から瞬く間に世界に拡がり、猛威を振るい、私たちの生活感、生活習慣を一変させ、院内外の各業務にも多大な影響を与えた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のため、雑誌の編集、作成、発行の手続きが大幅に遅れてしまいました。本巻（16巻2号）は、本来であれば、2020年3月に発行される予定でしたが、編集手続き自体が大幅に遅れ、やっと今日の刊行にたどり着きました。遅れはしましたが、なんとか刊行できたことについては、関係各位にあつく御礼申し上げます。

本巻に掲載、刊行された論文は、全て、採用は2020年3月までとなっておりますが、実際に印刷物となるのは2022年12月を予定しています。幸いにも、この間、病院ホームページ上に論文PDFをオンライン掲載できるシステムを事務局で構築してもらえたため、PDFが完成し次第、病院ホームページ上で公開してきました。しかし、このホームページ上の掲載は、正式なオンライン掲載と同等の確実性はなく、あくまでも、前倒しの仮掲載との見方しかしてもらえない可能性もあります。そのため、今回は、各論文に、受付日と受理日（採用日）の他に印刷日（刊行日）も記載しました。これらの期日には大幅なずれがありますが、本邦で最も信頼性が高く、最も一般的に利用されている論文検索サービスシステムである医中誌WEBには、紙媒体の雑誌が刊行された後に掲載される予定となるため、正式に医中誌に採用されるのは印刷日が最も近い期日となり、最終的な正式な発表日となります。

オンライン掲載後は、各論文の巻号を記載し、頁数は記載せず、「印刷中」として引用可能とはしていましたが、紙媒体雑誌が刊行された時点が頁確定となり、遅れて医中誌WEB上に掲載され、初めて正式に世に出る形となります。著者の皆様が、各学会や資格の取得、更新などに本雑誌掲載の論文を利用される際に、発行期日を採用日とするのか、印刷日とするのかは、各学会ごと扱いが異なる場合が予想されますので、直接該当学会などにお尋ね下さい。恐らく、多くのマイナーな学術誌で同様の問題が生じていることと思いますので、救済措置などもあるかもしれません。

また、本雑誌は査読制をとっています。しかし、この査読も、一般的に認められている査読の水準にはないともとれます。各学会や資格の取得、更新などで、本雑誌掲載の論文を利用される際にも、「査読制のある雑誌」が条件である場合は、「査読」の定義につきまして各学会などにお尋ね下さい。投稿規定には査読性を取り入れている一文があります。

この度は、雑誌の編集作業や印刷、刊行が遅れましたこと改めてお詫び申し上げます。

今後とも本雑誌の編集に御協力の程お願い申し上げます。

編集後記

医学雑誌の完成にあたり、多くの投稿をしていただきありがとうございました。また、論文の査読には多くの皆様にご協力をいただき、感謝申し上げます。

2019年（平成31年＝令和元年）4月30日に平成天皇が202年ぶりに退位され、皇位継承により年号が「令和」となりました。10月22日には「即位礼正殿の儀」が行われ、日本の古式からの伝統に触れることができた慶びと共に、新しい希望の満ちた令和の時代を期待したところです。

9月に開幕したアジア初開催となるラグビー・ワールドカップ日本大会では、日本代表はチームスローガン" ^{ワン} ^{チーム} ONE TEAM " を掲げ、世界の強豪国を相手に勇敢に戦い、準々決勝で南アフリカ代表に敗れるもその戦いぶりに国内外で称賛を集め、我々に勇気と希望を与えてくれました。

一方、地球の温暖化による影響もあり、全国各地において豪雨や台風などにより甚大な被害をもたらし、また、熊本県をはじめとする各地ではマグニチュード5以上の地震発生が3回もあり、改めて自然災害の恐ろしさを痛感したところです。そのような中、当院としては島根県災害拠点病院としての責務を果たすべく、更なる災害に対する備えをし、雲南圏域の医療を担い、市民の皆さまが安全にまた安心して医療が受けられるよう職員一丸となって地域医療に貢献して参ります。

最後に、本誌を通じて当院の研究活動がより一層発展していくことを祈念します。

雲南市立病院医学雑誌
編集委員会事務局 菊地 亮

雲南市立病院医学雑誌

Medical Journal of Unnan City Hospital

2022年12月印刷（2020年3月31日印刷予定）

2022年12月発行（2020年3月31日発行予定）

発行責任者 大谷 順

発行所 〒699-1221 島根県雲南市大東町飯田96番地1

雲南市立病院内

雲南市立病院医学雑誌編集委員会
